

## 速報

## 世界が認めめた国東の伝統農法

祝 国東半島・宇佐地域 世界農業遺産認定!!

5月29日正午、市役所にうれしい知らせが届きました。石川県で開催されていた国連食糧農業機関（FAO）の国際会議

で、国東市を含む六市町村が対象の国東半島・宇佐地域が「世界農業遺産」に登録されたので、これを契機に、国東市は一

次産業や観光面のさらなる振興を目指します。

世界農業遺産は、伝統的な農業や文化、土地景観などを保全し、次世代に継承することを目的に創設した制度です。今年4月、県や関係市町村、農協や漁協、大学関係者などで「国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会」を結成し認定への準備を進めてきました。

協議会が5月13日に申請した農業遺産は「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」がテーマ。多くのクヌギ林やため池を活用したシイタケ栽培や七島イ栽培といった伝統的な農林水産業システムと、六郷満山文化や歴史的な行事などに着目して認定を目指しました。



## 国東市の活性化につなげます

国東市長 三河明史

5月29日、国東市を中心とした国東半島・宇佐地域が、国連食糧農業機関（FAO）の世界農業遺産に登録されることが決まりました。私は、市長就任以来、福祉・観光・教育の里づくりを柱に、市政運営に力を注いできました。また、高齢化や少子化、過疎化の進行にももなう人口減少に歯止めをかけ、新しい農林水産業の振興等にも力を入れようと考えていた矢先に、世界農業遺産に登録されるという朗報が舞い込んできました。

私は、これを千載一遇のチャンスだと思っています。国東地方には雨が少なく、水稲や七島イの栽培にとって決定的に不利な条件にもかかわらず、先人達が知恵と血ののじむような努力を重ね、営々と作り上げてきたため池と、しいたけを作り出すクヌギ林がつなぐ循環型農業の仕組みが世界に認められたのです。これは世界に誇れる大変すばらしいことだと思います。私たちはこれらをしっかりと受け継ぎ、守らなければなりません。

今回の決定を契機として、米や七島イや椎茸をはじめとする農産物のブランド化や観光面に大いに活かしていきたいと思っています。私はさっそく、市役所内にプロジェクトチームを立ち上げ対策の検討を始めました。市民のみなさまのお力もお借りし、国東市発展のためにさらに努力する覚悟です。



▲農業用水の効果的な活用をするため池群(国東町綱井上空から撮影)